



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 トレーディア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9365 URL  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 古郡 勝英  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 茨木 信弘 TEL 078-391-7170  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,923	17.3	28	△53.8	133	△17.7	94	△19.6
2022年3月期第1四半期	4,195	—	61	—	162	—	117	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 60百万円 (△53.1%) 2022年3月期第1四半期 129百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	64.51	—
2022年3月期第1四半期	80.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,893	3,212	29.5
2022年3月期	10,112	3,225	31.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,212百万円 2022年3月期 3,225百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 20円00銭 (設立80周年記念配当)

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△7.6	160	△46.4	280	△31.3	190	△29.4	129.76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	1,470,000株	2022年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	5,831株	2022年3月期	5,831株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	1,464,169株	2022年3月期1Q	1,465,136株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月にまん延防止等重点措置が解除されたことから、人出が増加するなど消費活動が活発になり、景気回復に向けて明るい兆しが見られました。その一方で、アメリカの政策金利引き上げに端を発した急激な円安の進行や、原油や輸入原材料の調達コスト高止まり、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中国のゼロコロナ政策による上海ロックダウン等、景気の下振れも懸念され、当社グループが属する港湾物流業界における貿易に関しましては、逆風が吹く状況となりました。上海ロックダウンは6月から解除され、中国関連の荷動きは正常化に向かいつつあるものの、引き続き先行きの見通せない状況が続くものと予想されます。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比0.6%減少しましたが、国際部門の牽引により、営業収入は前年同期比17.3%増の49億23百万円余（対前年同期7億27百万円余増）となりました。損益面につきましては、仕入価格の高騰により、営業総利益は前年同期比9.2%減の2億18百万円余（対前年同期22百万円余減）となりました。営業損益は、一般管理費の増加により、前年同期比53.8%減の28百万円余の利益（対前年同期33百万円余減）、経常損益は、受取配当金が増加したものの、持分法による投資利益等が減少したことにより前年同期比17.7%減の1億33百万円余の利益（対前年同期28百万円余減）となりました。このため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比19.6%減の94百万円余（対前年同期23百万円余減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①輸出部門

輸出部門におきましては、食料品、化学工業品の取扱いが増加したものの、雑貨と機械機器製品が減少し、取扱量は前年同期比で微増となりました。しかしながら、上海ロックダウンの影響で取扱件数減少に伴い通関料収入等も減少し、収益性が悪化したことから、輸出部門の営業収入は前年同期比1.4%減の6億83百万円余（対前年同期9百万円余減）、セグメント損失16百万円余（前年同期はセグメント利益12百万円余）の計上となりました。

#### ②輸入部門

輸入部門におきましては、機械製品、繊維製品の取扱いが減少しましたが、雑貨が大きく増加し、取扱量は前年同期比8.6%増加となりました。しかしながら、機械製品、繊維製品の減少に伴う営業収入の落ち込みを補うに至らず、また、上海ロックダウンの影響で取扱件数減少に伴い通関料収入等も減少し、収益性が悪化したことから、輸入部門の営業収入は前年同期比3.9%減の12億21百万円余（対前年同期49百万円余減）、セグメント損失31百万円余（前年同期はセグメント損失30百万円余）の計上となりました。

#### ③国際部門

国際部門におきまして、輸出は、インド向け設備や、欧米向け事務機器など長距離輸送案件が堅調に推移したことに加え、南米向け航空便の大口案件も収入増に寄与しました。輸入においては、上海ロックダウンの影響で衣類関連の取扱いが減少しましたが、東南アジアからの家具類、衛生関連商品、北米からの化学品航空輸送などが堅調に推移し、収入増となりました。その結果、営業収入は前年同期比36.3%増の29億76百万円余（対前年同期7億92百万円余増）となりましたが、仕入価格の高騰の影響で、セグメント利益は前年同期比2.6%減の61百万円余（対前年同期1百万円余減）の計上となりました。

#### ④倉庫部門

倉庫部門におきましては、安定した賃料収入により、営業収入は前年同様の14百万円余となりました。セグメント利益は前年同様の13百万円余の計上となりました。

#### ⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比17.0%減の27百万円余（対前年同期5百万円余減）となり、セグメント利益は前年同期比42.0%減1百万円余（対前年同期1百万円余減）の計上となりました。

（注） 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入0百万円余を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億81百万円余増加し、108億93百万円余となりました。流動資産は8億17百万円余増の50億12百万円余、固定資産は36百万円余減の58億80百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、立替金の増加等によるものであります。固定資産減少の主な要因は、投資有価証券の減少等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億64百万円余増加し、55億1百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、70百万円余減少し21億78百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金、賞与引当金の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、12百万円余減少し、32億12百万円余となりました。これは、利益剰余金の増加がありますが、その他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日公表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	784,056	1,042,331
受取手形、売掛金及び契約資産	2,028,138	2,229,613
立替金	1,221,690	1,498,747
その他	162,395	245,734
貸倒引当金	△2,010	△4,196
流動資産合計	4,194,271	5,012,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,131,901	1,110,751
機械装置及び運搬具（純額）	10,471	29,454
工具、器具及び備品（純額）	4,173	3,894
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産（純額）	110,322	98,415
有形固定資産合計	3,038,524	3,024,173
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	39,278	36,666
無形固定資産合計	73,838	71,226
投資その他の資産		
投資有価証券	1,378,424	1,333,824
差入保証金	774,346	774,040
退職給付に係る資産	37,112	50,027
その他	619,885	632,458
貸倒引当金	△4,397	△4,838
投資その他の資産合計	2,805,372	2,785,513
固定資産合計	5,917,735	5,880,912
資産合計	10,112,006	10,893,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,406,156	1,475,310
短期借入金	2,586,139	3,116,139
リース債務	51,378	48,167
未払法人税等	90,162	43,036
賞与引当金	264,130	398,802
その他	239,524	420,142
流動負債合計	4,637,490	5,501,597
固定負債		
長期借入金	1,994,350	1,952,815
リース債務	78,944	67,792
繰延税金負債	86,853	68,201
役員退職慰労引当金	75,822	76,822
その他	13,110	13,110
固定負債合計	2,249,080	2,178,740
負債合計	6,886,571	7,680,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	2,008,184	2,029,328
自己株式	△11,646	△11,646
株主資本合計	2,901,964	2,923,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300,168	261,312
為替換算調整勘定	13,069	21,597
退職給付に係る調整累計額	10,232	6,785
その他の包括利益累計額合計	323,470	289,695
純資産合計	3,225,435	3,212,804
負債純資産合計	10,112,006	10,893,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業収入	4,195,830	4,923,451
営業費用	3,955,533	4,705,283
営業総利益	240,297	218,167
一般管理費	178,682	189,693
営業利益	61,614	28,474
営業外収益		
受取利息及び配当金	48,166	91,801
持分法による投資利益	34,495	11,196
その他	38,639	17,491
営業外収益合計	121,301	120,490
営業外費用		
支払利息	16,218	15,160
その他	4,072	—
営業外費用合計	20,291	15,160
経常利益	162,624	133,803
特別利益		
固定資産売却益	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	162,624	133,833
法人税等	45,090	39,372
四半期純利益	117,534	94,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,534	94,461



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	117,534	94,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,682	△38,856
退職給付に係る調整額	△3,069	△3,446
持分法適用会社に対する持分相当額	6,327	8,527
その他の包括利益合計	11,939	△33,775
四半期包括利益	129,473	60,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,473	60,686
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫	計				
営業収入									
外部顧客への営業収入	693,179	1,270,701	2,184,068	14,880	4,162,829	33,001	4,195,830	-	4,195,830
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	-	-	-	-	-	600	600	△600	-
計	693,179	1,270,701	2,184,068	14,880	4,162,829	33,601	4,196,430	△600	4,195,830
セグメント利益又は損失 (△)	12,305	△30,302	63,322	13,365	58,690	2,923	61,614	-	61,614

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△600千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫	計				
営業収入									
外部顧客への営業収入	683,546	1,221,004	2,976,804	14,880	4,896,236	27,215	4,923,451	-	4,923,451
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	-	-	-	-	-	660	660	△660	-
計	683,546	1,221,004	2,976,804	14,880	4,896,236	27,875	4,924,111	△660	4,923,451
セグメント利益又は損失 (△)	△16,508	△31,997	61,645	13,639	26,778	1,695	28,474	-	28,474

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△660千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。